

越谷市住まい・まちづくり大学

住まい・まちづくりの担い手発掘・育成を目指す「越谷市住まい・まちづくり大学」は、2012年の開校以来5年間、毎年テーマを定め6～7回シリーズの連続講座で、後半ワークショップの研究成果を越谷市景観シンポジウムで発表してきました。受講者総数は延べ598人、修了証書授与者は51名になりました。

この実績と蓄積を活かし、今年度・第6期目からはオープンセミナー方式で開催します(3回予定)。興味のあるテーマを選び、その都度自由に参加いただけます。主に、過去当大学を受講された方を対象に、学んだことをさらに深く掘り下げ、それぞれが提言されたまちづくりを実現させるために役に立つ学際的なテーマを取り上げます。もちろん、住まい・まちづくりに興味あり、学びの意欲のある方ならどなたでも受講できます。



Open Seminar Vol.3

テーマ: 共助社会における官民連携のあり方 — 公共空間の利活用による地域活性化 —

講師: 越谷市住まい・まちづくり協議会 景観まちづくり部会長 大塚 茂仁 氏



2018

3月10日(土)

19:00~21:00 (18:40開場)

会場 越谷市市民活動支援センター活動室
越谷市弥生町16番1号 越谷ツインシティBシティ5階

交通 東武スカイツリーライン 越谷駅東口から徒歩1分
http://koshigaya-activity-support.info/?page_id=16

参加費 無料

定員 先着30名

■主催: 越谷市住まい・まちづくり協議会
NPO法人越谷市住まい・まちづくりセンター

■後援: 越谷市

■協力: 日本大学大学院理工学研究科不動産科学専攻

【講師プロフィール】

大塚 茂仁 (おおつか しげひと)

1975年 越谷生まれ 一級建築士

専門はまちづくり、建築、インテリアデザイン

2000年 千葉工業大学大学院工学研究科工業デザイン学
専攻 修士課程修了

2000年～2002年 オランダの設計事務所勤務

2007年～現在 大塚茂仁建築設計スタジオ

2013年～現在 NPO法人越谷市住まい・まちづくりセンター

少子高齢化によって、社会福祉に係る行政費用は増え続け、財政を圧迫しています。そのために、公園の整備等に充てる費用は削減を余儀なくされ、行政のみに頼った公共空間の整備・運営は、今後ますます厳しくなっていきます。そのような中で、共助社会づくりの担い手として、民間企業やNPO法人、自治会のような地縁団体などがあり、様々な役割が期待されています。

平成29年度、住まい・まちづくり大学の事務局であるNPO法人越谷市住まい・まちづくりセンターは、埼玉県共助社会づくり支援事業の助成を受け、行政とNPO法人の共助関係を目指して、(仮称)大沢一丁目河畔公園「人の集まる公園創造事業」を実施しました。その事業の背景についての話を加えながら、官民連携のあり方を考えていきます。

【お問合せ・申込先】 越谷市住まい・まちづくり協議会事務局 (〒343-0806 埼玉県越谷市宮本町2-185-12)

TEL.048-965-5358 メール: koshigaya.sumamachi@gmail.com

【応募方法】 席に余裕がない場合はお断りすることがありますので、必ずメールにて事前登録をお願いします。件名を「3月10日セミナー受講申込」とし、お名前、住所、電話、メールアドレスをお知らせください。なお、ホームページのお問い合わせフォームからもアクセスできます。

